

学位論文審査の要旨

	張 瑋容 【ジェンダー学際研究専攻 平成24年度生】	要 旨
学位申請者		<p>本論文は現代台湾社会における日本のポップカルチャーの積極的な受容者（哈日族）と受容現象（哈日現象）における「記号化された日本への愛着」を台湾独自の対日関係の歴史的・社会的文脈に位置づけ、日本愛好者である哈日族の人々が日本に対して抱く好意または日本の物事に対して表す愛着を台湾の構造的な親日傾向との関係において分析することを目的とする。具体的には、先ず植民地期から現代までの各期における日本のイメージ形成の構造的性質を特にマクロな国家政策の次元において分析し、その系譜学的考察のうゑに 90 年代以降の哈日現象の展開と「日本への愛着」の変容過程を記述分析する。次いで、台北西門町と台北地下街での臨地調査に基づいて日本文化商品市場とそこに集う業者・消費者の諸実践の性質をメゾレベルにおいて多角的に解明する。さらに、哈日族 15 名のライフストーリーと彼らが収集した日本文化コレクションの詳細な分析を通じてミクロな生活実践のレベルから「哈日現象の現在」性質を解明する。そして、以上の作業を前提に、国家政策とイデオロギー（マクロ）と哈日族個々人の生活世界（ミクロ）を架橋する台湾の社会空間（メゾ）における「重要な他者」として神話化される「日本なる集会的想像」の産出過程を析出し、日本植民地期-戒厳令期-ポスト戒厳令期（現在）の各期におけるマクロ（国家政策、外交）-メゾ（メディア、教育、市場）-ミクロ（個人の生活世界）の相互作用と節合の性質を「日本の記号化の系譜」モデルとして総合し、台湾における親日感情の遷移とその背景を成す社会的文脈の重層的構造を提示する。</p> <p>本論文は長期に亘る綿密な臨地調査と史資料調査に基づいて、マクロな国家政策の史的変遷の分析、ミクロな個人の生活世界の分析、その両者を架橋するメゾレベルの社会空間の民族誌的分析の 3 つの焦点が流れを以って節合された優れて実証的な論考であり、「日本の記号化の系譜」モデルを含めて極めて高い独創性と新規性を有し、広く現代文化研究に貢献を成すものであると評価される。</p> <p>平成 29 年 11 月 30 日と平成 30 年 1 月 25 日に審査委員会を開催し、基礎概念の援用方法、分析手法の明確さ、メゾレベルの分析領域の設定方法、日本による植民地支配と台湾の文化景観の構築の問題、等々について論議が重ねられたが、その結果を受けて適切な修正が施された。</p> <p>平成 30 年 2 月 8 日に公開発表会と最終試験を実施した。公開発表会及び最終試験での質疑応答の内容を含め、最終審査会では、委員全員が一致して本論文が学位取得に相応しい水準に達しているものと判定した。よって、本審査委員会は申請者に対してお茶の水女子大学博士（社会科学）、Ph.D. in Cultural Sociology and Gender Studies の学位授与を適当と判断した。</p>
論文題目	現代台湾社会における親日感情の構築と日本の記号化—哈日族と哈日現象の分析を通じて—	
審査委員	(主査) 教授 棚橋 訓	
	教授 足立 眞理子	
	准教授 申 瑛榮	
	教授 加賀美 常美代	
	武蔵大学社会学部准教授 大橋 史恵	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（ 可 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 否 ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="checkbox"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	